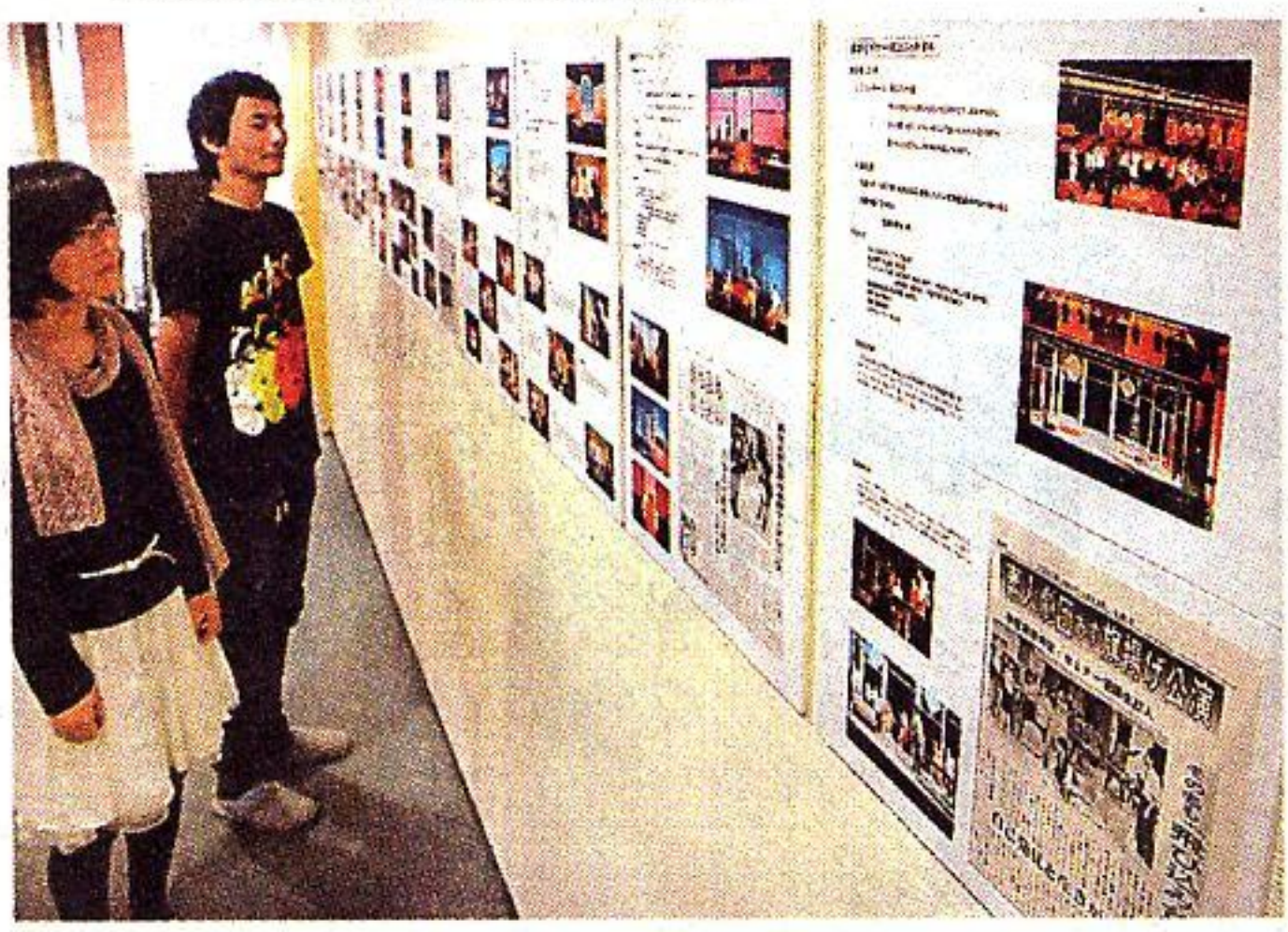
15周年を記念して、これまでの歩みをまとめたパネル展示（京都市東山区）



演劇初心者、成果見て

「ビギナーズユニット」30、31日に修了公演

東山・パネル展も

演劇の上演に初心者が取り組む「演劇ビギナーズユニット」の修了公演が三十、三十一の両日、京都市東山区の市東山青少年活動センターで行われる。十五回目の今回は、自立と向き合う若者の群像劇「僕の東京日記」を熱演する。

演劇を通じて、青少年に集団で何かを作り上げる良さやコミュニケーションの大切さを感じてもらおうと、一九九四年に始まった。

これまで三百人近くが「卒業」し、仕事の第一歩となった俳優、演出家もいる。

今回の舞台は一九七〇年代の下宿。十七―二十九歳の青少年十六人が、意見の相違や時代の違いにとまどいながら、五月からけいこを重ねてきた。

公演は三十日が午後一時半と同六時半、三十一日が午後一時半開演。前売り五百円（日時指定）、当日八百円。申し込みは同センター☎075（541）0619。

また現在、十四年間の取り組みをまとめたパネル展が、同センターで行われている。第一回からの公演の様子を、写真と解説文で紹介している。

（石川健一郎）